

水辺をとらえる研究会

目的

中心市街地活性化を目的として、大津市中心市街地活性化協議会の水空間デザインプロジェクト会議が事業提案としてまとめる、湖岸エリアのあり方や活用方策に関する事業計画（案）を提案する。

活動趣旨

大津市では琵琶湖や大津百町という地域資源を生かしたまちづくりを進めることで中心市街地活性化の実現を目指している。

湖岸エリアには、琵琶湖観光遊覧船の乗船場や『なぎさ公園』が整備され、集客の場や市民の憩いの場として、賑わいの創出に一定の役割を果たしてきた。

しかし、近年の社会経済情勢の変化や個人の価値観の多様化に伴い、湖岸エリアを訪れる人々の数は減少傾向であり、『賑わい溢れる湖岸』の実現には新たな取り組みが必要である。

このようなことから、中心市街地活性化協議会において水空間デザインプロジェクト会議が設置され、新たな湖岸エリアの創造に向けた検討が進められており、この取り組み対して、県内にある大学として、親しみある琵琶湖とまちが融合する水辺空間がもたらす『賑わい溢れる湖岸』を目指し共同で研究を進める。

活動計画（案）

【平成 25 年度】

◎第一回研究会

日程及び場所：平成 26 年 3 月 7 日（金） 浜大津湖岸エリア付近

内 容：活動主旨を捉え、相互理解を図る為の研究会の発足と湖岸エリアのフィールドワークを行う。

次回への課題：水辺のある都市や町の事例地をリサーチ

【平成 26 年度】

◎第二回研究会

日程及び場所：平成 26 年 5 月下旬 滋賀県立大学付近

内 容：“都市や町の水辺に近づく”

水辺を持つ都市や町で魅力となっている要素を発表

する。パワーポイント（予定）。

中心市街地の歴史・文化や変遷を再確認。

水辺空間における法的な条件等を認識

次回への課題：大津の水辺にとって相応しい空間デザイン（案）を
検討

◎第三回研究会

日程及び場所：平成 26 年 8 月下旬 成安造形大学大学付近

内 容：“大津の水辺に近づく 1～空間デザイン（案）～”
大津の水辺にとって相応しい空間デザイン（案）を
発表する。絵コンテ（予定）
法的な条件等を受けてデザイン（案）の修正・改良
フィールドワークを実施（必要に応じて）。

次回への課題：空間デザイン模型（案）を作成

◎第四回研究会

日程及び場所：平成 26 年 10 月上旬 浜大津湖岸エリア付近

内 容：“大津の水辺に近づく 2～空間デザイン模型（案）～”
空間デザイン模型（案）の中間発表

次回への課題：研究会での議論を踏まえ、空間デザイン（案）を仕上
げる。

◎第五回研究会

日程及び場所：平成 26 年 12 月上旬 浜大津湖岸エリア付近

内 容：“大津の水辺に近づく 3～空間デザイン模型～”
空間デザイン模型の発表
（平成 26 年度の研究成果発表）